



時代性という変化

KURODA International Foundation

黒田 毅

時代変化の速さは、想像に勝るのである。これは未来の創造を自由市場と競争原理における創造において、新しい世界を現実化しているのである。

これらはすべての企業が参加する共有の世界市場の統一化とともに、ダイナミズムは一切の歴史においても、比する事はないのである。

これらは自由という理想が、すべての挑戦者の参加と共に、優劣を競い合う、ビジネス原理における世界の変化が存在するのである。

これらは最も非情な現実とその企業努力における選別が存在するのである。これはアメリカという現実が競争と世界ルール、新しい未来を自己に有し、その夢という現実を自己に行なっているのである。

これら現実は明らかに未来という現実が存在することへの認識を求められる。これらは旧時代のルールがもはや通用しないのである。

これらは社会と生活変化を他方に有し、政治は自己の評価を現実に与えられる。

例えば、テスラモーターにおける企業生産性効率は、すべての旧時代における企業運営基準との比較において判断を与えられる。

また、GAFAM などの企業環境や就業環境、先端技術性やシステムは必ず企業が市場への参加を行う統一基準なのである。

これら時代のダイナミズムは、新しい王たちの誕生を有するのである。